

家庭学習のすすめ

学習したことが身に付きます！

学校で学んだことを家庭で復習することによって習熟・定着を図ることができます。また、予習をすることで、授業を分かりやすくすることもできます。特に、漢字や計算などは、繰り返し練習することで定着していきます。反復練習が「わかる！」「できる！」という自信につながります。

脳の働きが活発になります！

読み・書き・計算を何度も繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、繰り返し使うことによって活発に働くようになり、さまざまなことに順応できるようになります。心身の発達が著しい成長期に、どんどん鍛えたいものです。

学習習慣が力を伸ばします！

毎日、決まった時間、決まった場所で家庭学習を続けることにより、忍耐力が養われます。それが当たり前の習慣になると、学ぶ力が大きく伸びていきます。テレビやゲーム、スマートフォンなどの利用ルールも決めて、誘惑に打ち勝つ自己調整力や判断力、集中力を育みましょう。

家庭学習の習慣化 3つのポイント

家庭学習の習慣化のために家庭でできることは、落ち着いて学べる環境づくりです。まずは家族が協力し、次の3つのポイントを意識して取り組んでみましょう。

◆ポイント1 「生活のリズムを整えましょう」

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される生活習慣や食習慣を規則正しく整えましょう。
- ②運動習慣をつけて基礎体力を養いましょう。運動習慣は睡眠の質の向上にもつながります。
- ③家族で話し合い、子どもの意見も聞きながら、学習・生活習慣のきまりや、テレビ・スマートフォン・ゲームなどの家庭ルールをつくりましょう。

◆ポイント2 「学ぶ雰囲気をつくりましょう」

- ①学習は、静かで集中できる環境で取り組むことが大切です。家族の協力は不可欠です。
- ②身の回りの整理整頓をさせ、ゲーム機など気が散るようなものは置かないようにしましょう。

◆ポイント3 「子どもとの対話を深めましょう」

- ①学校での様子などを聞き、子どものがんばりや困り感を理解するようにしましょう。
- ②新聞記事やニュースを話題にして、社会へ目を向けさせましょう。



学力形成は生活習慣から！

お子様の学力形成には、学習習慣はもとより、生活習慣が大きく関わっています。「早寝・早起き・朝ごはん」や「自主的な家庭学習」の習慣が身に付いている子は平均正答率が高いという結果が、学力調査から明らかになっています。

ご家庭では「あきらめず、粘り強く取り組む姿勢や態度」を育ててあげてください。学力向上は、生活習慣の形成から取り組みましょう。

チャレンジ自主学习・小学校低学年

学校の宿題から自主学习
までの流れの参考例です。

ステップ1 まずは、しゅくだいにチャレンジ！



ステップ2 きそりょくアップメニューにチャレンジ！

きょうつう	・きょうのじゅぎょうをふりかえり、ならったもんだいをときなおしたり、ノートをみなおしたりする。
こくご	・ひらがな、かたかな、かん字をただしくよんだり、ていねいにかいたりする。 ・ならったかん字をつかって、かんたんな文しょうをつくる。 ・きょうかしよの文しょうをこえにだしてよむ。詩などをおぼえてとなえる。
さんすう	・けいさんれんしゅうをくりかえす。まちがえたもんだいは、どこでまちがえたかか んがえてもういちどちょうせんする。 ・もののながさをはかったり、くらべたりする。 ・もののかたちをみつけて、かたちのなかまあつめをする。 ・とけいのよみかたをれんしゅうする。 ・かけざん九九をとなえる。
せいかつ	・せいかつの中でふしぎにおもうことをしらべてみる。かぞくなどにきいてみる。

ステップ3 パワーアップメニューにチャレンジ！

かだいをもって じぶんからまなぶ力が パワーアップ！	・がくしゅうしたことをふりかえり、じぶんのことばでまとめる。 ・がくしゅうしたことをつかってじぶんでもんだいをつくる。つくった もんだいをかぞくなどにといてもらう。 ・さまざまな本をよむ。かんそうをかく。よんだ本をかぞくなどにし ょうかいする。 ・eライブラリで、とくいがないようやにがてないようをえらんでちょ うせんする。
かんがえる力・ かく力・はなす力が パワーアップ！	・ニュースを見て、それにたいするじぶんのかんがえをはなす。かぞく とこうりゅうする。 ・につきをかく。かぞくやせんせい、ともだちなどによんでもらってか んそうをこうりゅうする。

目的に応じて教科書を活用しましょう！

教科書には、さまざまな問題やその解説等が載っています。「苦手な教科
なので、基礎学力をしっかりと身に付けたい」「活用問題が苦手なので、発展
的な問題に取り組みたい」など、それぞれの目的に応じて教科書を活用す
ると、学力向上にたいへん役立ちます。

特に、単元ごとのまとめ問題や巻末の資料は、学んだ内容を試したり、
発展的な学びへとつなげることができるものです。教科書を隅から隅まで
使いこなして、学力向上へつなげていきましょう。

